

第4回「自然散策会」 報告

日時：2024年6月29日（土）8：10～15：30

場所：股峠周辺

参加者：河野、関谷、土金

報告：土金

第4回目の「自然散策会」は、石灰岩地特有植物を観察します。朝8時過ぎに武蔵横手駅に集合し、国道299号を一路二子山を目指す。志賀坂峠の手前で林道に入り、ヤマゴボウを見て倉尾登山口に到着。二子山はロッククライミングで有名なので、既に数台の車が停まっている。車を降りると、マタビの灰かな香りが漂う。

前日の雨で滑りやすい山道を、ガイドを担当する河野さんの後をついて歩き、股峠から東岳方向に登る。まず目についたのは蛇紋岩地や石灰岩地に生えるイワシモツケ、岩場に自生するウチョウラン（絶滅危惧Ⅱ類）。キバナコウリンカ（絶滅危惧ⅠB類）は、群馬の叶山、小鹿野の二子山や白石山にしか自生していない石灰岩地特有の希少な植物だが、時期が過ぎたようで花弁がそろっていないのが少ない。男性2人は岩場を東岳まで登ることにした。その他アカショウマ、シナノキ、シモツケ、ヤマアジサイ、ヤマハハコなどが咲いていた。

途中の岩場で西岳を眺めながら昼食休憩をし、滑りやすい斜面を降りる。登山口の手前で登るときに見落としていたキバナノショウキラン（絶滅危惧ⅠB類）に気づく。

短い時間だったが多くの植物に出会えた。武蔵横手駅まで戻り、解散。



ヤマゴボウ



マタタビ



倉尾登山口



イワシモツケ



ウチョウラン



キバナコウリンカ



東岳山頂



アカショウマ



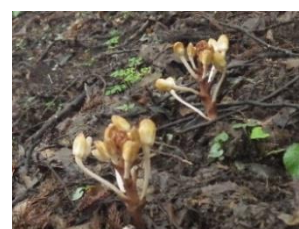
シナノキ



昼食休憩



下山



キバナノショウキラン